

六甲高山植物園 牧野富太郎ゆかりの植物 六甲山で発見されたアリマウマノスズクサ開花！

六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:寺西公彦)が六甲山上で運営を行っている六甲高山植物園では、牧野富太郎ゆかりの植物「アリマウマノスズクサ」が見頃です。

アリマウマノスズクサは昭和11年に、日本植物学の父・牧野富太郎博士により六甲山にて発見、命名されました。

六甲高山植物園では、梅雨の時期にラッパのようなユーモラスな形の花を咲かせます。当植物園のアリマウマノスズクサは現在見頃で、6月下旬までご覧いただける見込みです。



◆アリマウマノスズクサ(ウマノスズクサ科)

山林中に生えるつる性の木本です。花には花弁がなく、長い萼がラッパ状になって口が広がっています。花後の果実が、昔、馬につけられていた鈴に見立てられて「馬の鈴草」です。

◆牧野富太郎(1862-1957)

高知県出身の植物学者。独学で植物の知識を身につけ、植物分類学の研究に没頭。生涯で1,500種以上の植物を命名し、「日本の植物分類学の父」と称されます。2023年前期 NHK 連続テレビ小説のモデルです。



◆リリースに関するお問合せ先

六甲高山植物園

TEL:078-891-1247/FAX:078-891-0137

住所:〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【開園期間】～11月23日(水・祝) 【休園日】6月23日(木)、30日(木)、7月7日(木)、14日(木)

【開園時間】10:00～17:00 (16:30受付終了)

【入園料】大人(中学生以上)700円/小人(4歳～小学生)350円

※新型コロナウイルス感染症の影響により、営業・イベントの内容を変更・中止する場合があります。